

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #6

持続可能な農業に向かって!!

「ノウフク・アワード2024」

「STEP UP」(宮崎市) がグランプリ受賞

2024

ノウフク アワード

NOUFUKU AWARD
2024

農林水産省では、農福連携に取り組んでいる優れた事例を「ノウフク・アワード」として毎年表彰し、全国への普及を推進しています。

「ノウフク・アワード2024」には、全国の205団体から応募があり、22団体が各賞を受賞しました。

その中で、宮崎市の一般社団法人「STEP UP」がグランプリを受賞し、令和7年1月22日に、東京で授賞式が行われました。

「STEP UP」は、障害者就労施設ながら農業生産法人「株式会社CoCoRoファーム」を立ち上げ、障害者・矯正施設出所者の就労や生活の安定に向けた支援を行うとともに、認定農業者として米やズッキーニ、ミニトマトなどを生産しています。

利用者による農産物の
袋詰め、加工等の様子

代表の堀川佳恵さん

堀川代表は、ノウフクアワード2021で優秀賞を受賞した際に、グランプリ受賞者にしか事例発表の機会が与えられないことを知り、多くの方に私たちの取組内容を伝えるためには、グランプリを取るしかないと思ひ続け、今回のグランプリに結びました。

伝えたい取組方針として、次の3つがあります。

- ①利用者が全ての行程に関わっている
- ②課題は多くあるが、失敗で終わらせない
- ③更生への新たな環境づくり

また、新たな目標として、地域の高齢者等から水田の農作業委託の相談が寄せられているため、ファームのある西都市の担い手として、他の団体等とも連携して規模を拡大し、更に地域に貢献していくことを目指しています。



●令和6年度農林水産関係補正予算(総額8,678億円)が、令和6年12月17日に成立しました。

●令和7年度農林水産関係予算は、令和6年12月27日に、総額2兆2,706億円が概算決定されました。

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、食料安全保障の強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進します。

■令和6年度農林水産関係補正予算の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r6hosei.html>

- 1 新基本計画推進集中対策
- 2 物価高騰等の影響緩和対策
- 3 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施
- 4 持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進
- 5 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

■令和7年度農林水産関係予算の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r7kettei.html>

- 1 食料安全保障の強化
- 2 農業の持続的な発展
- 3 農村の振興（農村の活性化）
- 4 みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化
- 5 多面的機能の発揮
- 6 カーボンニュートラルの実現・花粉症解決に向けた森林・林業・木材産業総合対策
- 7 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化

拠点のうごき

1月26日 「道の駅」都城NiQLL多目的室において、宮崎県学校給食会主催「学校給食フェア」が開催され、当拠点は、米粉に関するパネル展示のほか、米粉活用レシピ集の配布など米粉のPRを行いました。来場者の方々から「米粉を使っています」「レシピがあると助かります」などと言った声が聞かれました。



拠点の展示ブース



参事官室にて取材

1月17日 時事通信社発刊の農業機関紙「Agrio」への掲載のため、宮崎県拠点が取り組む「みどりの食料システム戦略」について、菊池地方参事官が取材を受けました。

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

寒いが続いていますが、近所の紅梅が少しずつ咲き始めました。春までもう少しですね。年が明けてから人も鶏もインフルエンザが流行しています。平穏な1年にと初詣をしました。体調管理には日々気を付けようと思います。皆さんも栄養補給・十分な睡眠を摂って春に備えましょう。(1)